

2007 年 8 月 7 日

【本日の日本経済新聞社の報道について】

日本通運株式会社
株式会社近鉄エクスプレス

本日 8 月 7 日（火）付けの日本経済新聞にて報道された記事内容について下記の通りご説明いたします。

高品質で高い競争力を備えたサービスを提供する日系フォワーダー独自の小口航空輸送商品を創造するべく日本通運ならびに近鉄エクスプレスの 2 社は、その実現に向けて互いに研究をする方向で合意を致しました。

しかしながら、具体的な販売体制や商品企画につきましては未定であり、記事にあります会社設立のための出資、スケジュール等々の詳細につきましては未定です。

日本を含むアジア域内における国際物流は経済のボーダレス化により航空輸送、海上輸送による商業貨物は年率 7 - 8 パーセントの勢いで伸びております。しかし、国際インテグレーターの戸口から戸口までの国際急送貨物とフォワーダーの提供する一般航空貨物サービスの間には垣根がなくなりつつあります。

このような環境変化に対応し、日本通運ならびに近鉄エクスプレスの 2 社は、日系フォワーダー業界の発展に寄与すべく両社は関係機関と協議を重ね新商品の開発を進める予定であり、一般航空貨物、小口航空貨物ならびに海上貨物輸送、3PL などを含めた総合ロジスティクスの分野においてお客様の満足度向上に努める所存です。

以 上